

全国大学まちづくり 政策フォーラム in 京田辺

大阪成蹊大学山中ゼミAチーム

岡本 奥川 上林 新堂 劉

キララ商店街



→シャッターを閉じている店が多く、
駅前だが活気は溢れていない



付加価値がついた図書館

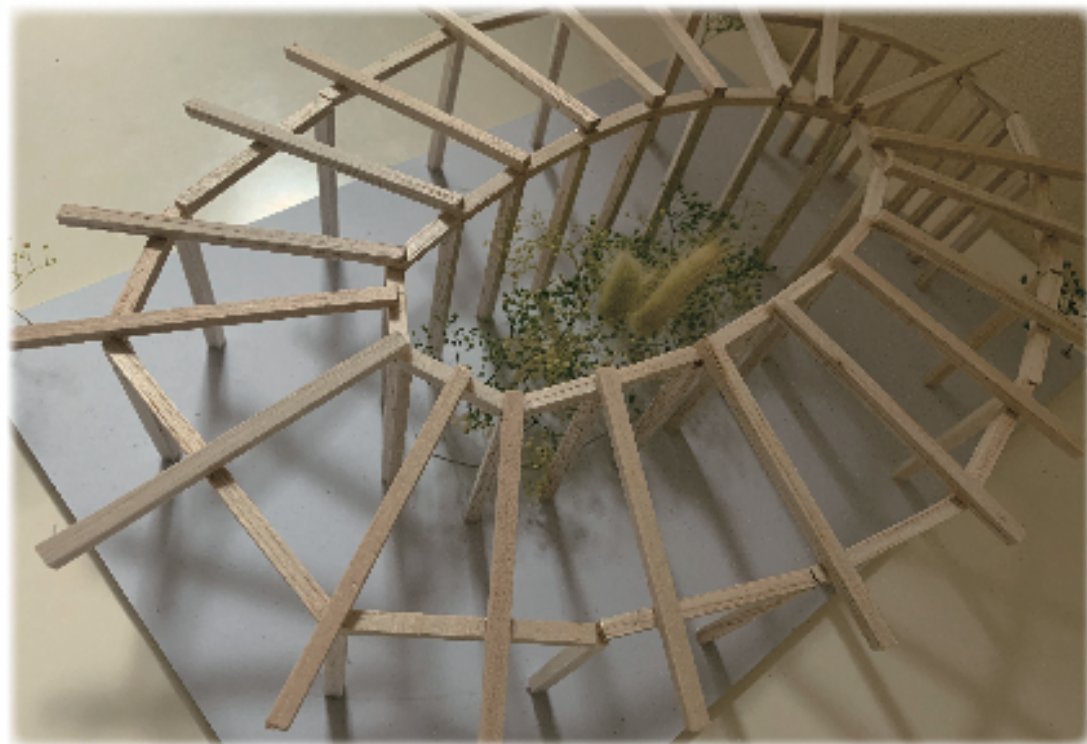


キーワード

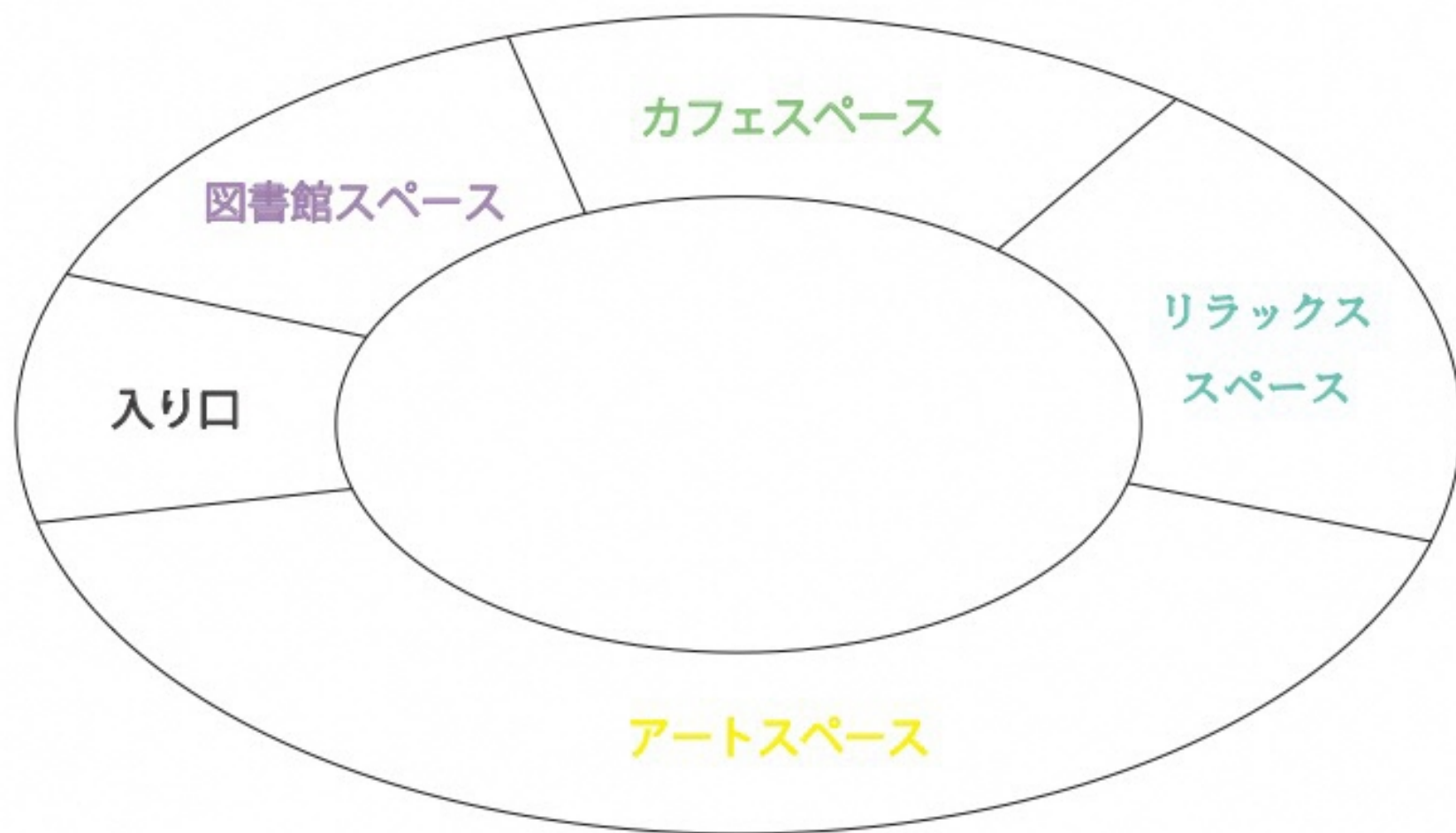
『自然と共存する施設』

外観

格子状にした理由としては木のぬくもりが感じられ、中の景色が見えることによって、入りやすい空間になっています。また実際の建物に合わせて吹き抜けを作り、そこには自然を感じられるような植物がたくさんあります。また壁をなくし、一周できるようにしたことによって圧迫感がなく、開放感溢れた空間になっています。



【全体図】



ART SPACE

アートのスペースには、京田辺市の
子供から大人までの作品展示を
定期的に行います。

他にも京田辺市の歴史物や有名物の
展示も行いより京田辺市の魅力を
アピールすることができます。

また、小さい頃からアートに触れる
ことで発想力が身につきます。





アールスペースの中にも緑を取り入れた
照明やパーティションをデザインしました。

様々な作品に合わせて什器をデザインしています。
また、立ち止まってみるのもいいですが座りながら
ゆっくりと時間を過ごすユニークなソファも
設置しました。



LIBRARY

京田辺市の皆さんから本を持ち寄っていただく図書館を提案しました。皆さんからの支援が子供達に明るい未来を導きます。

小さい頃から読書をすることで、語彙力も漢字力も上がります。

また、読み聞かせとしての利用も可能です。

読み聞かせは親子の触れ合う時間を確保

できたり話を聞くための集中力がつく、

想像力が豊かになります。





本棚は木材を使用し、木の板には日本の特徴がある柄を透かし彫りにしています。
彫った穴から光が差し込んだり、壁を超えて人がぼんやりと見えるデザインにしました。
ガラス張りに沿って設置されているベンチではゆっくり時間を過ごせるよう設置しました。

エリアの真ん中にあるテーブルは本の返却と収集用に設置しました。
真上には、この図書館のシンボルとなる地球儀の照明を吊るしています。

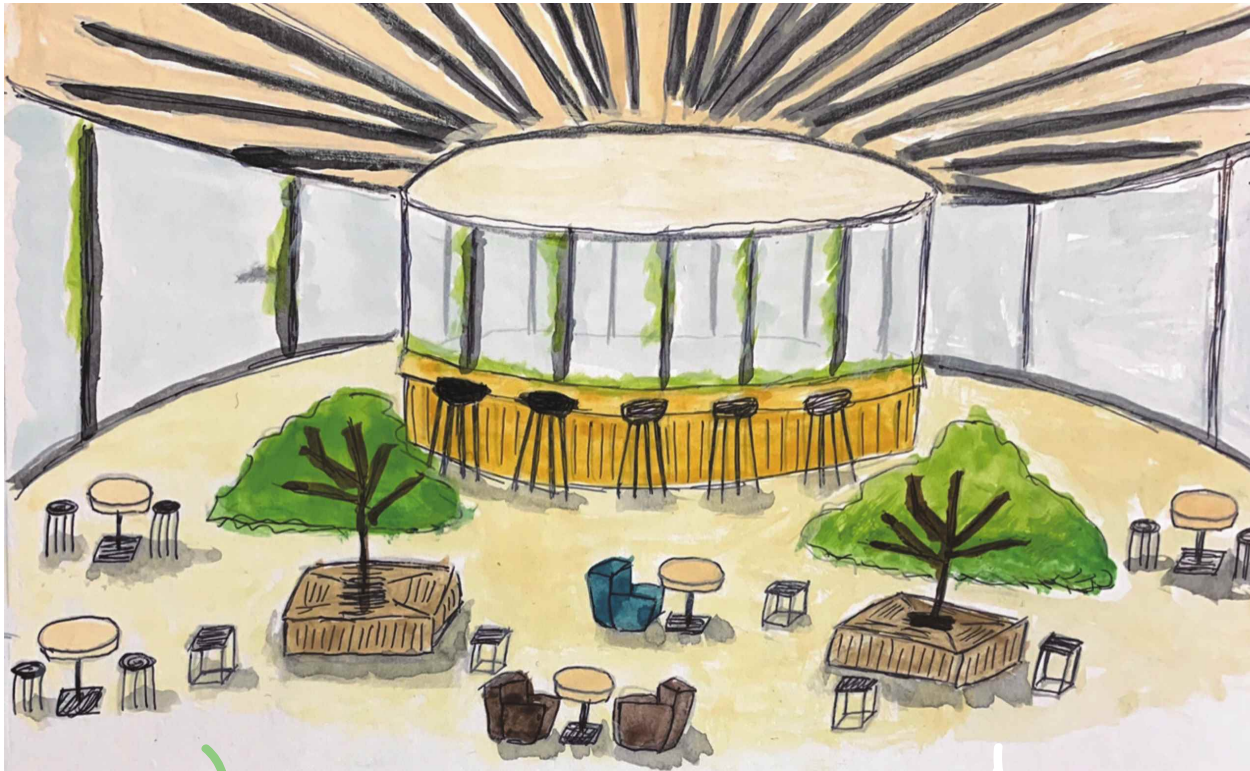


CAFE SPACE

緑を基調とした開放感のあるカフェ
図書館の本を持ち込みここで読む
ことができる。

円形の建築を活かした構造で中庭に
面したカウンターから中庭の様子を
見ることができる。大きな木の
ベンチはこのカフェのシンボルと
なっている。





色々な寛ぎ方が出来る
スペース

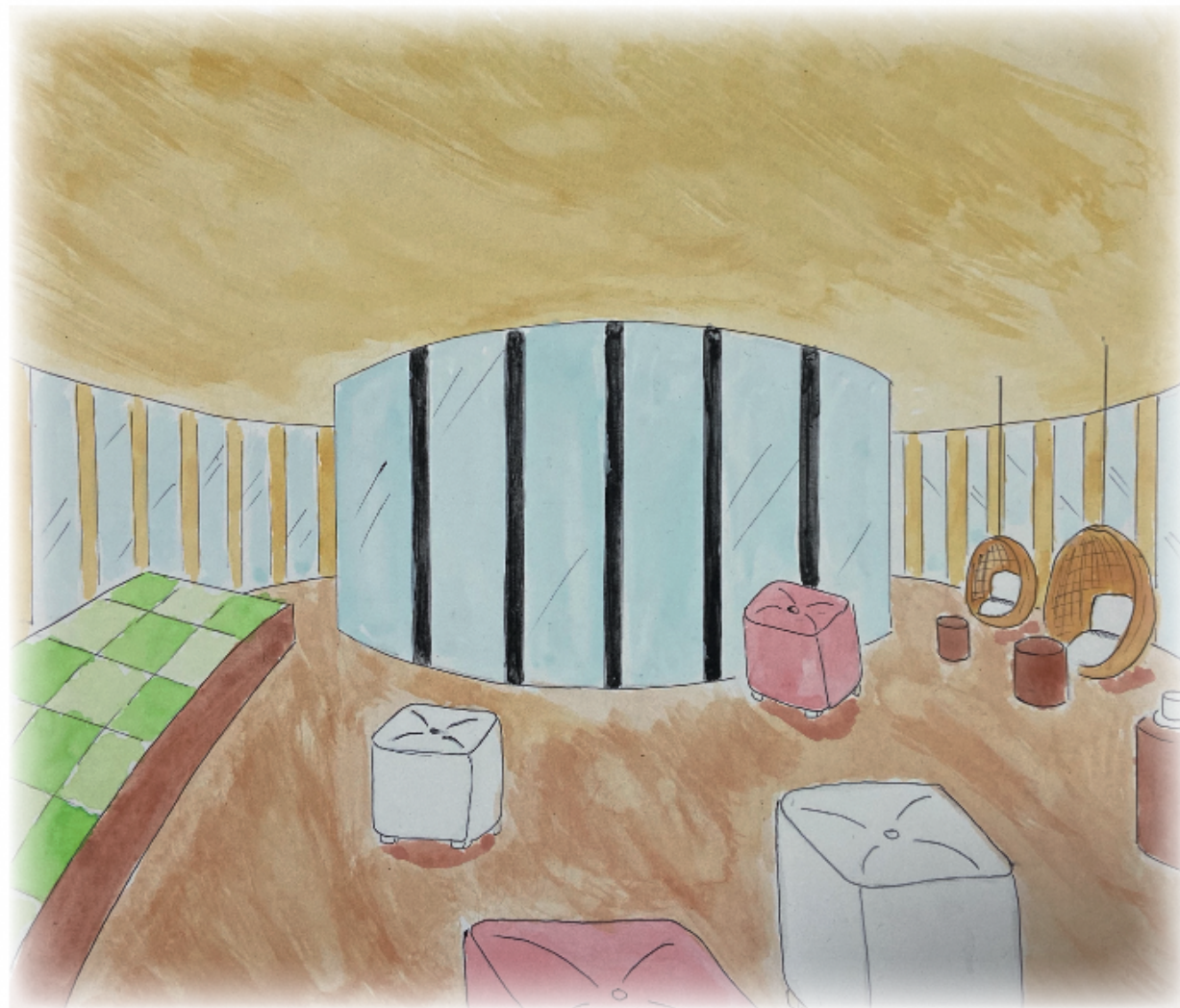
人が過ごしている様子をイメージ



RELAX SPACE

リラックススペースでは
本を持ち寄り、カフェでの
飲み物を持ってこられる
ブースです。

一人一人の読書の時間を
大事にしていることから
空間を広く使っています。
京田辺の子供たちにも気軽
に来てもらえる場所として
いきます。





ポイント①
ハンキングチェア

もう一つのプライベート空間を作り出し
さらに集中して読書を楽しめる。

ポイント②
絨毯

靴を脱ぎ、リラックスして読書が楽しめる。

ポイント③
琉球畳

「洋」ともマッチし、フローリングとはまた違った温かみがある。
空間との仕切りをつける為に一段上げている。





京田辺市のシンボル
となり、活気づく